

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	雨水排除施設の整備事業			
担当部・課名	下水道工務課	評価者(課長)	丸山勝	評価責任者(部長)	藤田真治	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり総合計画・前期基本計画における位置づけ	施策コード	600507	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(7)雨水排除施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的(対象)	浸水対策が必要な地域内の市民	事業の目的(意図)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳山駅ロータリー、地下道及び周辺商店等の浸水を解消、軽減する。</li> <li>●富田西部区画整理内の浸水を解消、軽減する。</li> <li>●中開作地域の浸水を解消、軽減する。</li> <li>●川崎・南浦山地域の浸水を解消、軽減する。</li> </ul>
事業の内容(手段)	<ul style="list-style-type: none"> <li>●徳山駅前の浸水を解消するため、徳山駅周辺の整備事業と連携を図りながら、雨水函渠の増強を効率的に整備する。</li> <li>●富田西部区画整理内の浸水を解消するため、区画整理事業などと連携を図りながら、雨水函渠やポンプ場を効率的に整備する。</li> <li>●中開作地域の浸水を解消するため、市道整備事業などと連携を図りながら、雨水函渠やポンプ場を効率的に整備する。</li> <li>●川崎・南浦山地域の浸水を解消するため、県道拡幅事業などと連携を図りながら、雨水函渠を効率的に整備する。</li> </ul>		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	都市浸水対策達成面積(平成31年度)	概ね5年に1度起こると予想される規模の大雨に対し、整備が完了している区域の面積	ha	目標値	771.7	771.7	771.7
			実績値	769.0	771.4		
			達成度(%)	99.7%	100.0%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	219,000	233,500	659,500	446,000
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	311,204	195,172		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円				富田西部区画整理区域においてJR線横断工事及び移設補償費が減額となった。	富田西部区画整理区域においてJR線横断工事費が増額となった。
	正職員人件費	千円	45,110	38,506			
	人工数	人	6.10	5.20			
	支出コスト	千円	決) 356,314	決) 233,678			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	徳山駅北口の雨水函渠増強工事は平成26年度で完了した。富田西部区画整理区域内の雨水函渠整備は平成27年度にJR線横断及び移設補償の設計業務委託を締結した。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 雨水排除施設の整備は用地買収、移設補償及びJR線横断など困難な諸条件を解決する必要がある。また、国庫補助金内示額が要望額を大きく下回っており事業進捗に影響を及ぼしている。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない理由	概ね都市浸水対策面積は目標に達成しているが、富田西部区画整理内の雨水対策において、JR線横断及び移設補償の設計業務委託を締結したが、平成27年度年度内に業務が完了しないため、次年度に業務を繰り越した。
	事務事業の方向性	雨水排除施設の整備は、市民の生命と財産を守る重要な事業であるが、事業の完成までは長い年数と膨大な予算が必要であり、経済的、効率的に事業を進めるため計画的に事業の進捗をしなければならない。	評価責任者コメント	地球の温暖化等の影響もあって、近年、集中豪雨、ゲリラ豪雨等が頻繁に発生し、浸水被害をもたらしている。浸水対策は「雨水公費の原則」から、その財源は一般会計によることとなり、その財政状況の厳しさがなかなか進捗が図れていないが、市民の安心・安全に係るものであり、市長部局(特に財政サイド)と改めて進捗・前倒しを図ること。 (周南市においては「市民の安心・安全」をまちづくりの主要な柱に掲げている。) 富田中央雨水幹線の整備などは、進捗が図れないと、土地区画整理事業が終了したにも係らず、「浸水被害」が発生するということになる。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
富田西部区画整理内雨水函渠整備事業におけるJR横断及び川崎・浦山雨水函渠整備事業を早期に完成するため、関係諸機関と調整・協議を進める。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否	正職員	臨時等	
①	徳山駅南口周辺浸水対策事業	徳山駅ロータリー、地下道及び周辺商店等の浸水被害を解消、軽減	徳山駅南口の県道海岸通線(通称:産業道路)に雨水函渠(W1.5m×H1.0m・1.8m)を21.2m布設した。	25,591 否	0.90	0.00	
②	区画整理事業(富田西部)に関連した雨水函渠整備事業	富田西部区画整理内の浸水被害を解消、軽減	JR線横断及び移設補償の設計業務委託を締結した。また、雨水函渠(W3.5m×H2.0m・2.2m)を77.9m布設した。	120,332 否	1.90	0.00	
③	中開作雨水幹線函渠整備事業	中開作地域の浸水被害を解消、軽減	中開作第1雨水幹線の実施設計を策定した。瀬ノ上雨水幹線(W1.5m×H1.5m)を24.5m布設した。	27,337 否	1.40	0.00	
④	川崎・南浦山雨水函渠整備事業	川崎・南浦山地域の浸水被害を解消、軽減	県発注の県道中央通線の拡幅工事に合わせて雨水函渠(W1.7m・1.8m×H1.5m、W0.9×H0.9)を15.4m布設した。	21,912 否	1.00	0.00	
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	上下水道施設の長寿命化・耐震化事業			
担当部・課名	下水道工務課	評価者 (課長)	丸山勝	評価責任者 (部長)	藤田真治	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600502	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(2)上下水道施設の長寿命化・耐震化			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	老朽化した下水道汚水管渠及び合流管渠	事業の目的 (意図)	今後、老朽化した下水道汚水管渠の維持管理費の増大に対応するため、経済的・効率的な管渠の布設替え・更生を行いことにより経営の安定化を図る。
事業の内容 (手段)	老朽化が進む下水道汚水管渠及び合流管渠の長寿命化計画を策定し、計画に基づき国庫補助金事業として経済的・効率的に管渠の布設替えまたは更生を実施する。		

【実施内容】 Do

事業目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
	管渠の布設替え・更生延長(H31年度目標)	長寿命化計画に基づいた施工済み(管渠の布設替え・更生)延長	km	目標値	3.90	3.90	3.90
実績値				1.98	2.11		
達成度(%)				50.8%	54.1%		

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	(予算額)	直接事業費	千円	38,000	60,000	70,000	117,200
うち一財		千円					
(決算額)	直接事業費	千円	15,123	10,556		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円				長寿命化計画に基づく汚水管渠の更生及びストックマネジメント計画策定を実施するため増額となった	長寿命化計画のからストックマネジメント計画に移行したため、長寿命化計画の策定業務が減額となった。
	正職員人件費	千円	25,143	21,845			
	人工数	人	3.40	2.95			
	支出コスト	千円	決) 40,266	決) 32,401			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	平成25年度に汚水管渠及び合流管渠の長寿命化計画を策定し、平成25年度から5年間、計画に基づき管渠の更生及び更新を進めてきた。	課題・問題点	<input type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性 長寿命化計画を策定し管渠の更生及び更新を進めてきたが、今後は、ストックマネジメント計画策定が補助金交付の条件に移行したため早急な計画策定が必要である。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	長寿命化計画からストックマネジメント計画への移行を円滑に行うため、県、国に計画策定の進め方を問い合わせしているが、情報量が少ないため策定作業が遅れが生じている。
	事務事業の方向性	下水道事業は多くの社会資本(ストック)を有しており、今後、持続可能な事業推進には計画的に社会資本の更生、更新を行わなければならない。従って、ストックマネジメント計画の策定は下水道事業の経営安定には欠かせない。	評価責任者コメント	これまで、施設ごとに「長寿命化計画」を策定し、施設更新等に努めてきたが、今後は「人口減少社会の到来」や「このことによる下水道使用料の減少」などの時代背景(潮流)を念頭に、下水道施設全体を視点に入れた「施設の最適化」に取り組んでいくことが重要である。 こうしたことから、平成28年度と29年度の2ヶ年度で、国の動向を踏まえながら、確実に「ストックマネジメント」を策定すること。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
下水道施設の更生・改築計画は長寿命化計画からストックマネジメント計画に移行するため、長寿命化計画による更生・改築の期間を延長しながら、ストックマネジメント計画を早期に策定し、事業が停滞することなく円滑な移行を図る。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	上下水道施設の長寿命化・耐震化事業(下水道施設)	長寿命化計画に基づき効率的、経済的に管渠の更生、更新を実施する。	下水道汚水管渠の更生を130m実施した。	10,556 否		2.95	0.00
②							
③							
④							
⑤							

平成28年度 周南市事務事業評価シート

事務事業コード		事務事業名	汚水処理施設の整備事業			
担当部・課名	下水道工務課	評価者 (課長)	丸山勝	評価責任者 (部長)	藤田真治	

【事業概要】 Plan

第2次まちづくり 総合計画・前期 基本計画における 位置づけ	施策コード	600506	分野	6都市基盤	事業の分類	(施設等整備事業)
	基本施策	5水道の安定供給と下水道の充実			補助・単独の別	補助
	推進施策	(6)汚水処理施設の整備			会計名	12下水道事業会計

事業の目的 (対象)	公共下水道の整備困難地域の市民	事業の目的 (意図)	早期に水洗化を行い、生活環境及び周辺環境を改善する。
事業の内容 (手段)	下水道事業計画区域において整備困難地域の整備方針を策定し、整備方針に定められた優先順位の高い市街化区域及び用途地域内から整備を進める。 優先順位の低い市街化調整区域及び用途地域外は下水道事業計画区域から削除し浄化槽で水洗化を進める。		

【実施内容】 Do

事業 目標	指標名	指標説明	単位	年度	26年度	27年度	28年度
					目標値	実績値	達成度(%)
汚水処理人口普及率(平成31年度)	処理区域内人口(公共下水道、農業・漁業集落排水施設、浄化槽)を行政人口で除した割合		%		97.1	97.1	97.1
					95.8	95.5	
					98.7%	98.4%	

事業費	項目	単位	26年度	27年度	28年度(予算)	29年度(予算)	30年度(見込)
	直接事業費	千円	65,500	120,200	109,000	127,000	90,000
(予算額)	うち一財	千円					
(決算額)	直接事業費	千円	54,158	89,028		対28年度増減理由	対29年度増減理由
	うち一財	千円				熊毛地域において用途地域内の下水道整備に着手するため増額となった。	徳山地域における夜市地区の下水道整備が完了したため減額となった。
	正職員人件費	千円	19,967	20,364			
	人工数	人	2.70	2.75			
	支出コスト	千円	決) 74,125	決) 109,392			

【評価】 Check

課題・問題・評価等	事業開始からの推移	公共下水道整備困難地域のうち、熊毛地域、鹿野地域は計画区域から削除した。整備困難地域における整備の基本方針を決定し、市街化区域及び用途地域内の整備を優先して行うこととした。	課題・問題点	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当性 <input type="checkbox"/> 有効性 <input type="checkbox"/> 効率性 下水道事業計画区域からの削除は住民の方々の同意が必要であるが、全員一致が難しい地域もあるため、合意形成に時間が必要である。
	評価	B A 目標を達成した(計画どおりに事業を進めた) B 概ね目標を達成した(実施方法等の見直しが必要) C 目標を下回る(大幅な見直しが必要) D 目標を大きく下回る(抜本的な見直し、廃止の検討)	達成度と結びつかない場合の理由	平成27年度中に徳山地域の一部を下水道計画区域から削除する予定であったが、地元住民の合意形成が得られず、計画区域から削除できなかった。
	事務事業の方向性	下水道計画区域の中で、市街化区域でも30年以上整備されていない地域がある。市街化区域は下水道以外での水洗化ができないため、市街化区域以外は計画区域から削除し、市街化区域は整備を優先して実施する。	評価責任者コメント	周南市の下水道普及率は特環、農集、漁集を併せて「86.3%」であり、山口県下においては和木町に次いで第2位である。汚水処理人口普及率は「95.8%」と高い数字を示している。 こうした状況から、今後は下水道施設についても国が示しているように、「新たに建設する時代から維持管理の時代」になるものとする。 現在の本市では「未普及地域」の解消に取り組んでいるが、市街化調整区域や都市計画区域外の「処理区域」などにおいては、住民皆さんの同意が得られれば、処理区域の見直しを図ることで、補助金制度等を適用することで「合併浄化槽」の設置を促していくことも大変重要である。

【改善】 Action

平成29年度当初予算等での改善結果(平成29年度当初予算への反映など)	備考
徳山地域は櫛ヶ浜・栗屋地区の下水道整備に係る実施設計に着手する。熊毛地域は平成28年度に用途地域外の一部を下水道計画区域から削除し、平成29年度は用途地域内の下水道整備を進める。	

【事務事業を構成する細事業】

No.	細事業名	細事業の目標	細事業の実施内容	コスト(千円)		人工数	
				外部委託の可否		正職員	臨時等
①	汚水処理施設の整備事業	下水道の整備困難地域において早期の水洗化を行う。	鹿野地域の一部を下水道計画区域から削除し浄化槽での水洗化とした。市街化区域内に汚水管渠を624.5m布設した。	89,028	否	2.75	0.00
②							
③							
④							
⑤							